

私たちは如何に「モノ」を視るのか

「モノ」を視る—白樺派の視線—について

大正時代の我孫子に暮らした白樺派・哲学者 柳宗悦が「民藝」の語を生み出して百年になることを記念して企画展示を開催します。

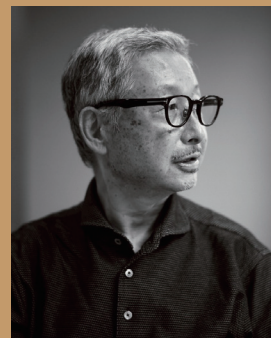
今回の展示では白樺文学館所蔵の陶磁器類を主に展示し、鑑賞に際しては、装飾的な解説は省き、柳自身の言葉を引用することで、彼の「美」に対する意識を繙きながら、「現代の我々は如何にして目の前の「モノ」と向き合い得るか」をコンセプトに来場者ひとりひとりの「美」に対する意識を再発見してもらうことを目指します。

—— 同時開催 —— 白樺芸術祭 ABIKO コラボ企画展示

「山田裕の視線—志賀直哉の孫として—」

「志賀直哉は我孫子から京都に移住後、『座右宝』という巨大な美術図録を製作します。言わば「志賀直哉の視線」によって選ばれた美しいものが収録されています。かつて私はその存在を知らずに、そこに収録されている「高山寺の狗児」（木彫りの子犬）のソフビ人形を購入していました。後に『座右宝』の存在を知り、驚いたことを今でも覚えています。今回白樺文学館のご協力を得て、私自身が心惹かれてきたものの一端をご紹介できることを、ありがたく思っております。」

山田裕（白樺芸術祭 ABIKO 実行委員長 現代アートコレクター）



白樺芸術祭期間中（11月8日～11月22日）は
文豪とアルケミストのパネル展示も開催予定！！

アクセス

JR 常磐線・成田線我孫子駅
南口より徒歩 15 分
JR 我孫子駅南口より阪東バス
「アビスタ前」下車徒歩 2 分



利用案内

開館時間	9:00～16:30（入館は16時まで）
休館日	毎週月曜日 （月曜が休日の場合は開館し、次の平日） 12月29日～1月3日 ※展示替え等に伴う臨時休館あり
入館料	一般 300 円／大学生・高校生 200 円 団体 20 人以上 2 割引
3 館共通券	一般 500 円／大学生・高校生 400 円 杉村楚人冠記念館・鳥の博物館共通 1 カ月間有効
年間パス	2000 円 1 年間有効 杉村楚人冠記念館共通